

第61回 九州医療ソーシャルワーカー研修会 佐賀大会

2025年到来！地域に求められる医療ソーシャルワーカー

SAGAそう 生き残るための 戦略



インターナショナルバルーンフェスタ(佐賀市)
写真提供／佐賀県観光連盟

2025 SAT SUN
11.22-23

DAY1
13:00～18:00

DAY2
9:00～12:30

会場：アバンセ（どんどんどんの森内）
〒840-0815 佐賀県佐賀市天神三丁目2-11

第 61 回 九州医療ソーシャルワーカー研修会 さが大会 開催要項

大会テーマ

『2025 年到来！地域に求められる医療ソーシャルワーカー』
～SAGA そう 生き残るための戦略～

開催日時

令和 7 年 11 月 22 日（土） 13：00～17：45
令和 7 年 11 月 23 日（日） 9：30～12：30

主催

九州医療ソーシャルワーカー協議会
第 61 回 九州医療ソーシャルワーカー研修会 さが大会 実行委員会

後援

佐賀県社会福祉士会、佐賀県精神保健福祉士会

会場

アバンセ 〒840-0815 佐賀県佐賀市天神三丁目 2-11(どんどんの森内)
電話：0952-26-0011



＜アクセス＞ 徒歩：佐賀駅から約 10 分 自動車：佐賀大和インターより約 20 分
(開館時間内の駐車は無料ですが、台数には限りがあります)

参加費

会 員(※1) 7,000 円 非会員(※2) 8,500 円 学 生(※3) 3,000 円

※1 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の医療ソーシャルワーカー協会会員

※2 九州 8 県以外の医療ソーシャルワーカー協会会員、その他団体の方々等

※3 社会福祉士・精神保健福祉士養成課程(大学・短期大学・専門学校)在籍中の学生

大会趣旨

今大会は、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、医療や介護などの社会保障費の増大、医療と介護の人材不足といった多くの課題に直面している『2025年』に開催されます。

現在、医療ソーシャルワーカーは、業務の多様化と複雑化、多問題を抱える患者支援の難しさに直面しています。大会を通じて、専門的な分野（生活困窮者・高齢者・障がい者・こども分野）との連携の在り方を知り、それぞれの分野の中の「はざま」におかれる人々への支援を考える機会になること、また地域で活躍する次世代の医療ソーシャルワーカーを育てる環境づくりを見出す『未来戦略』を描きます。

<大会スケジュール>

1日目 11月22日(土)

時 間	内 容
12:30 ~	受付開始
13:00 ~ 13:20	開 会 式
13:35 ~ 14:35	基調講演
14:35 ~ 14:50	休憩
14:50 ~ 16:10	シンポジウム
16:10 ~ 16:25	休憩
16:25 ~ 17:45	研究発表
19:00 ~ 21:00	情報交換会（懇親会）

2日目 11月23日(日)

時 間	内 容
9:00 ~	受付開始
9:30 ~ 12:00	ワークショップ・中堅者研修
12:15 ~ 12:30	閉会式

大会プログラム詳細及び講師紹介

1日目 11月22日(土)

【基調講演】13:35~14:35

<テーマ>『地域とともに歩む医療ソーシャルワーカー：実践から見える福祉政策の現在地』

講 師：坂本 毅啓 先生（北九州市立大学 地域創生学群 教授）

<企画趣旨>

本講演では、北九州市内の戸別訪問活動、子どもへの支援、SNS を活用した行方不明者捜索などの取り組みを紹介しながら、医療ソーシャルワーカー（MSW）による地域との関係性構築の重要性を共有します。医療機関に所属する MSW が、地域づくりに積極的に関与することの意義を考えます。参加者が「自分だったら何ができるか?」という問いを持ち帰り、地域とともに歩む MSW としての実践を見つめ直す契機となることを目指します。

【シンポジウム】14:50～16:10

<テーマ>『支援の“はざま”にある人々と地域をつなぐ：分野を越えた連携とMSWの役割』

座長：梶原 順（社会福祉法人思賜財団 済生会唐津病院 佐賀県医療ソーシャルワーカー協会会長）

司会：下田 薫（独立行政法人国立病院機構佐賀病院 佐賀県医療ソーシャルワーカー協会事務局長）

コメンテーター：坂本 毅啓 先生（北九州市立大学 地域創生学群 教授）

登壇者：林 英慶氏（武雄市 第1層生活支援コーディネーター）

中尾 彰宏氏（一般社団法人 すまいサポートさが 代表理事）

中尾 富嗣氏（社会福祉法人 佐賀西部コロニー 理事）

大野 真如氏（一般社団法人 あまね 代表理事）

<企画趣旨>

少子高齢化、孤独・孤立問題、障がい者支援、子どもの貧困など、複雑化する社会問題の中で、支援の“はざま”に置かれる人々がいます。本シンポジウムでは、専門分野を越えた実践者が登壇し、臨床現場から見える課題と可能性を共有します。また、地域が持つ包摂性と排他性の両面を複眼的に捉えながら、支援者自身が「地域住民」としてどう関わるか、そして次世代の医療ソーシャルワーカーを育てる環境とは何かを問い直します。

【研究発表】16:25～17:45

・九州各県2演題募集 ※申し込み及び詳細は別紙の研究発表要項をご参照ください。

2日目 11月23日（日）

【ワークショップ】9:30～12:00

※ワークショップおよび中堅者研修の申し込みについて

参加申し込み時に希望を募りますが、研修内容により参加定員が決まっているワークショップがあり、ご希望の研修に参加できない場合もございます。ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、学生の皆様の選択研修は、ワークショップAのみとなります。

①ワークショップA

<テーマ>『生活保護制度の知識と活用』

～"知る"と"わかる"の違いを理解し、適切な支援ができるMSWになる～

講師：奥村 晴彦先生（精神保健福祉士・元大阪社会医療センター附属病院 MSW/PSW

大阪医療ソーシャルワーカー協会監事 釜ヶ崎のまち再生フォーラム代表）

<企画趣旨>

憲法第25条に明記されている「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」を具体化した生活保護法を理解することから経済的支援の根幹であるナショナルミニマムの概念を知り、日本のセーフティネットの活用術を身に着けるとともに支援者としての根拠を明確化していくことを目的とする。

また、正しい知識を活用することにより、より良い支援をクライアントへ届けることができる医療ソーシャルワーカーなることを、このワークショップの課題とする。

②ワークショップ B

<テーマ> 『ソーシャルワーカーのための臨床倫理（入門編）』

講 師：内田 美加先生（一般社団法人 静岡県医師会 シズケアサポートセンター

医療介護連携アドバイザー）

<企画趣旨>

MSW は臨床現場において、日常的に倫理的ジレンマを経験します。このようなジレンマに対し、向き合い方が分からない、これでいいのか、誰か答えを教えてほしいと悩む場面はありませんか。このセッションでは臨床倫理の入門編として、倫理原則や基本的な考え方を学びます。またツールを活用したグループワークを通じて「悩まなくて済む」のではなく「正しく悩む」ことについて一緒に考えます。

③ワークショップ C

<テーマ> 『終末期支援に寄り添う援助関係を深めるために

ーマインドフルネスによる新たな自己覚知とメタ認知の実践ー』

講 師：池埜 聡先生（関西学院大学 人間福祉学部 社会福祉学科 教授）

<企画趣旨>

終末期支援を含む多くの困難ケースに携わる医療ソーシャルワーカーが、マインドフルネスを通じて自己への気づきやメタ認知、コンパッションを培い、援助関係を深めることを目的としたワークショップです。マインドフルネスの実践と対話を重ねながら、患者とその家族に寄り添う支援者としての存在感、すなわち臨床的プレゼンスを養い、「寄り添うとは何か」を改めて問い直します。援助の渦中で立ち止まり、自分を見つめるもう一人の自分と出会う時間です。

④中堅者研修（九州医療ソーシャルワーカー協議会 研修部企画）

<テーマ> 『日常の対人援助の一步先へ ～社会的健康規程因子とその溝を埋める～』

講 師：西岡 大輔先生（医師・社会福祉士 京都大学大学院医学研究科 特定准教授）

<企画趣旨>

近年、広く提唱されるようになった社会的健康規程因子（Social determinants of health）の概念を学びます。事例検討を通じて、メアリー・リッチモンドの精神として表現される、"The good social worker doesn't go on helping people out of a ditch. Pretty soon, she begins to find out what ought to be done to get rid of the ditch. ～優れたソーシャルワーカーは、ただ人を溝から助け出し続けるのではありません。やがて、その“溝”そのものをなくすには何が必要かを考え始めるのです～"を、医療ソーシャルワークの現場で展開する方法をともに探りましょう。

※中堅者研修の対象について

実務 4 年以上、15 年未満の現任者とする。ただし、中堅者のとらえ方は、職域やソーシャルワーカー個々人の価値観等によって認識も様々であるため、参加希望者が自らを中堅者と認識していれば、上記年限以外のものでも参加を妨げない。

情報交換会（懇親会）について

日時：令和7年11月22日（土）19：00～21：00 大会1日目終了後に懇親会を企画しております。

会費：7000円

会場：四季彩ホテル千代田館（〒849-0916 佐賀県佐賀市高木瀬町東高木 216-1 電話 0952-32-5115）

参加希望の方は、参加申し込み時に懇親会の参加の欄にチェックをお願いします。

なお、懇親会の参加費用は大会参加費と同時に Peatix にて徴収します。

※お申し込み時に、「大会参加+情報交換会」と書かれているチケットを選択ください

学生の皆様は、情報交換会への参加はお控えください。

申し込み方法

<参加申し込み・お支払いについて>

下記の URL または QR コードからお申し込み下さい。

<https://kyushu-mswseminar-saga.peatix.com>



申し込みの期間

令和7年8月8日（金）～令和7年10月31日（金）

その他・注意事項

・佐賀県医療ソーシャルワーカー協会のホームページのご案内

今年度、当協会のホームページを一新しました。

ホームページでは当協会の動き、さが大会の開催要項等がご覧いただけますので参照ください。

[佐賀県医療ソーシャルワーカー協会 https://msw-of-saga.com/](https://msw-of-saga.com/)



・さが大会当日は、他の学会やイベント開催が見込まれており、佐賀市内は宿泊施設の確保が困難となる可能性があります。参加希望の方は、ご自身で早めの宿泊先予約をお願いいたします。

<問い合わせ先>

第61回 九州医療ソーシャルワーカー研修会 さが大会 事務局

国立病院機構佐賀病院 入退院支援センター 担当 倉田 順子

TEL:0952-30-7141(代表) Mail: saga.msw.assoc@gmail.com